

平成23年(2011年)12月期 決算説明会




コスモ・バイオ株式会社

2012.2.16

www.cosmobio.co.jp

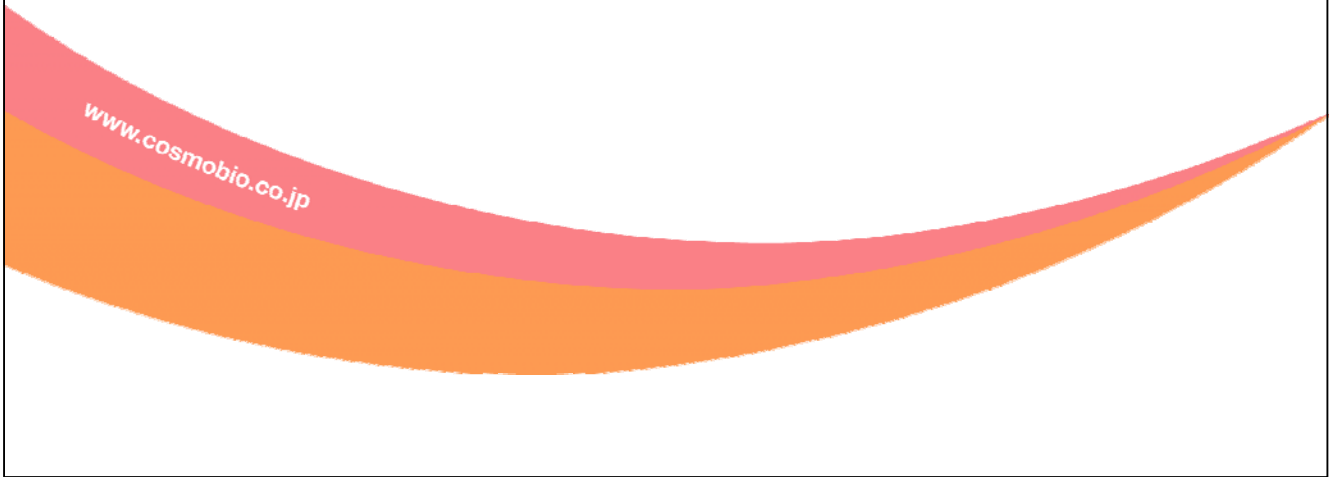
JASDAQ
Listed Company 3386

目次

 人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

1. 2011年12月期決算の概要…………… p.3
2. ライフサイエンス研究市場…………… p.13
3. 2012年12月期の取り組み …………… p.17
4. 会社概要と事業の内容…………… p.25

1. 2011年12月期 決算の概要



業績ハイライト

売上高

【前年比】

↑
108%

前期:ビーエム機器の業績が第2四半期より寄与
当期: " 年度を通して寄与

【予想比】

↓
95%

当第1四半期の政府補正予算が大幅減少
東日本大震災により一時的に公的予算の執行が抑制

利益

円高傾向が続いたことおよび販管費の抑制に努めた結果、前期および当期業績予想より、いずれも増益

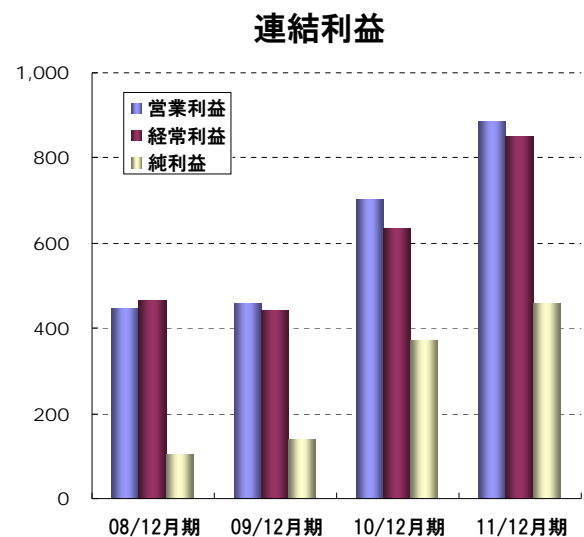
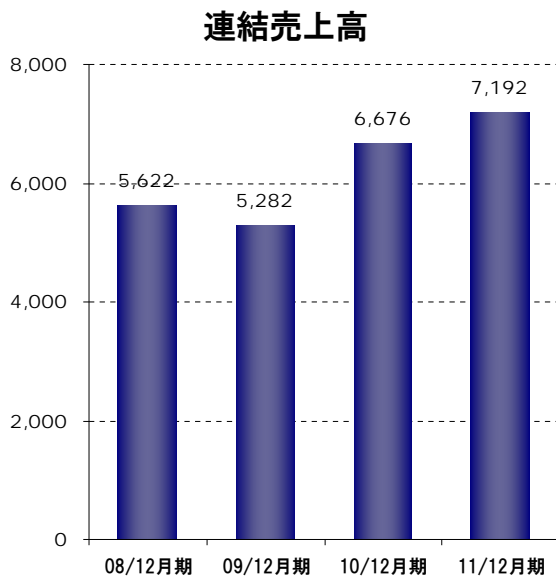
連結損益計算書(前年同期比)

(単位:百万円)

| | 2010年 12月期 | 2011年 12月期 | 増減額 | 増減率 |
|-------|---------------|---------------|-----|-------|
| 売上高 | 6,676 | 7,192 | 516 | 7.7% |
| 売上総利益 | 2,849 | 3,183 | 335 | 11.7% |
| 営業利益 | 701 | 891 | 185 | 27.1% |
| 経常利益 | 635 | 856 | 215 | 34.6% |
| 純利益 | 373 | 458 | 85 | 22.8% |

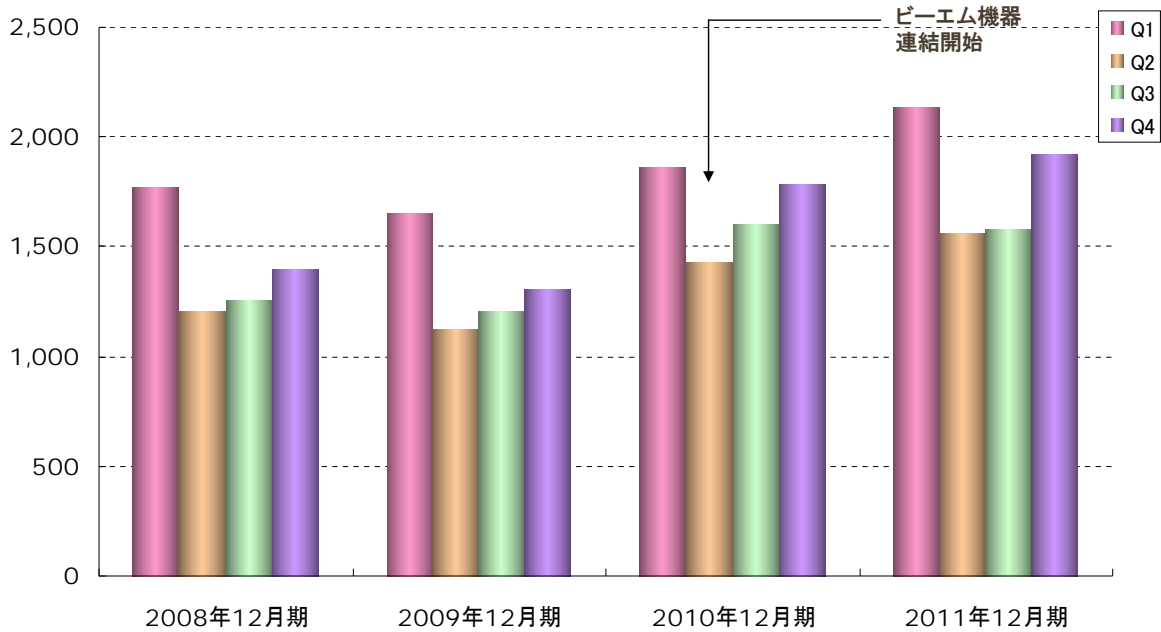
連結売上高／利益の推移

- 売上高70億円突破
- 2期連続で増収増益

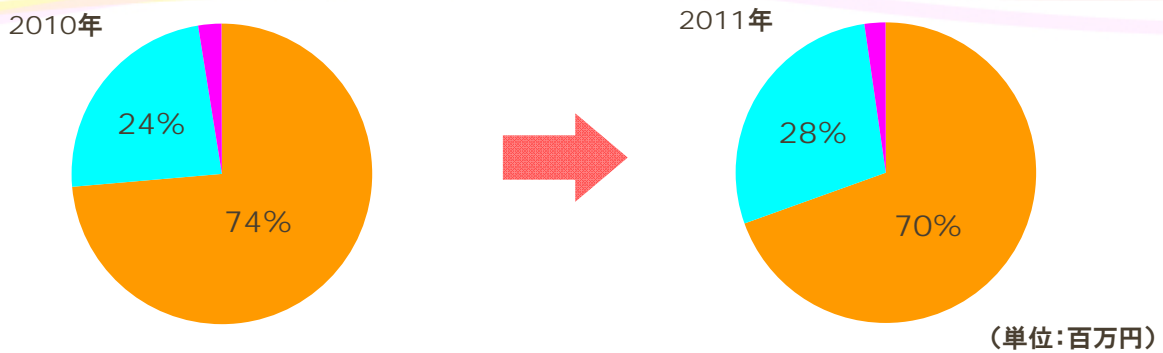


四半期別連結売上高動向

東日本大震災とそれに関わる予算執行遅れの影響により、第2、第3四半期の売上が伸び悩んだが、第4四半期で回復



商品分類別連結売上高



| | 2010年 12月期 | | 2011年 12月期 | | 増減額 | 増減率 |
|-------|---------------|--------|---------------|--------|-----|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| 研究用試薬 | 4,923 | 73.7% | 5,002 | 69.6% | 79 | 1.6% |
| 機器 | 1,582 | 23.7% | 2,037 | 28.3% | 455 | 28.8% |
| 臨床検査薬 | 170 | 2.6% | 152 | 2.1% | △18 | △10.9% |
| 合計 | 6,676 | 100.0% | 7,192 | 100.0% | 515 | 7.7% |

連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 2010年12月末 | 2011年12月末 | 増減額 |
|--------|-----------|-----------|-------------------|
| 総資産 | 6,170 | 6,734 | 564 |
| 流動資産 | 4,720 | 5,264 | 543 ^{注1} |
| 固定資産 | 1,449 | 1,470 | 20 |
| 負債合計 | 1,113 | 1,390 | 277 ^{注2} |
| 純資産合計 | 5,057 | 5,343 | 286 |
| 自己資本 | 4,621 | 4,873 | 251 |
| 自己資本比率 | 74.9% | 72.4% | |

注1 現金及び預金の増加
有価証券の増加

注2 未払い法人税の増加

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 2010年 12月期 | 2011年 12月期 | 増減額 |
|------------------|---------------|---------------|--------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 202 | 880 | 677 ^{注1} |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △334 | △351 | △17 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △93 | △232 | △139 ^{注2} |
| 現金および現金同等物の増減額 | △229 | 289 | 518 |
| 現金および現金同等物の期末残高 | 1,181 | 1,471 | 289 |

注1 利益増
売上債権の増加
未払い金の増加

注2 配当金の支払い増加
自己株式の取得

2012年12月期の連結業績見通し

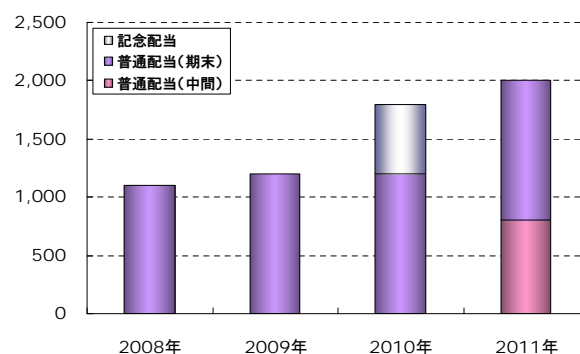
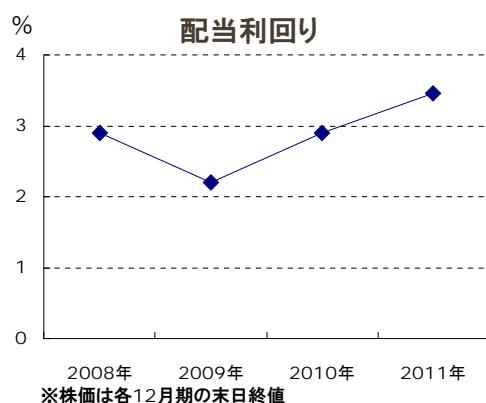
(単位:百万円)

| | 10/12月期 実績 | 11/12月期 実績 | 12/12月期 予想 | 対前年比 | |
|----------|---------------|---------------|---------------|------|--------|
| | | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 6,676 | 7,192 | 7,400 | 207 | 2.9% |
| 営業利益 | 701 | 891 | 775 | △115 | △13.0% |
| 経常利益 | 635 | 856 | 823 | △32 | △3.8% |
| 純利益 | 373 | 458 | 480 | 22 | 4.8% |
| 売上高経常利益率 | 9.5% | 11.9% | 11.1% | — | — |

| 平均為替レート | 10/12月期 | 11/12月期 | 12/12月期 (予想) |
|---------|---------|---------|-----------------|
| 円/USドル | 88円 | 79円 | 83円 |

配当について

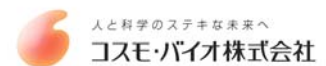
| | 1株当たり配当金 | | 合計 |
|----------------|----------|--|--------|
| | 中間 | 期末 | |
| 2012年 12月期(予想) | 800円 | 1,200円 | 2,000円 |
| 2011年 12月期(予定) | 800円 | 1,200円 | 2,000円 |
| 2010年 12月期 | 0円 | 1,800円 (うち普通配当 1,200円) (うち記念配当 600円) | 1,800円 |
| 2009年 12月期 | 0円 | 1,200円 | 1,200円 |



2. ライフサイエンス研究市場

www.cosmobio.co.jp

東日本大震災による影響



当社グループへの影響

- 人的被害はなく、物理的被害もわずかだった。震災による被害を機に、子会社プライマリーセルの仙台事業所を廃止。
- 特別損失として5百万円を計上。
- 震災以降、しばらくの間は国際物流・国内物流ともに大きな影響が出たが、まもなく正常化した。取引代理店の中には被害を被ったところもあり。

ライフサイエンス市場への影響

- 被災地の大学や研究機関では停電などの影響で細胞や血清などの生体試料の多くがダメージを受けた。試薬や機器の損傷・破損も多く、一時的に研究活動が停止。
- 遺伝子組み換え生物などの拡散の報告はなし。

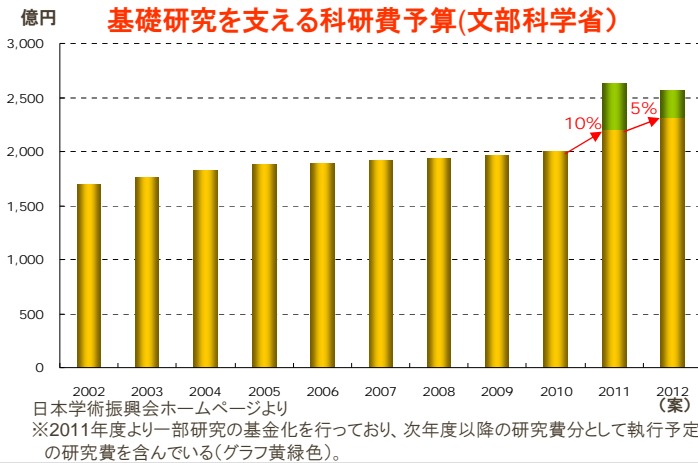
ライフサイエンス研究の市場環境

大学・公的研究機関

- 財政再建のため公的予算の見直しが続くなか、基礎研究を支える科研費は重点配分。
- **iPS細胞などに代表される再生医療分野やRNA研究分野等**は伸びも大きく、成長が期待される。

企業

- 2010年問題で製薬企業は売上減に直面しているが、研究開発予算は引き続き高水準を維持。

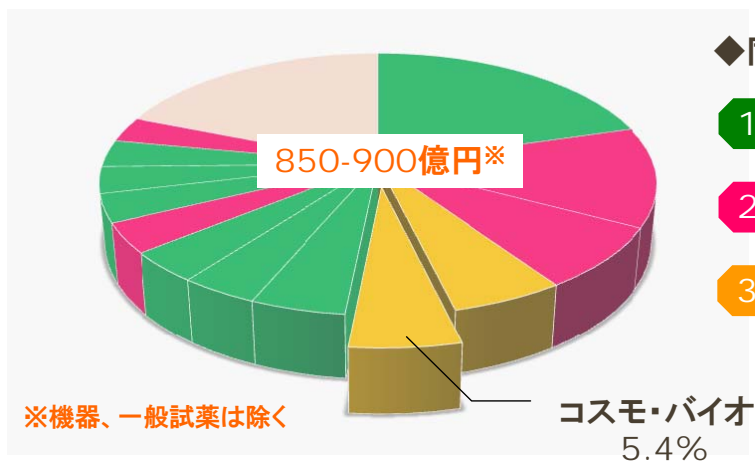


2011年度の文部科学省予算は、厳しい財政事情の下で前年度を下回る中、日本政府の『ライフ・イノベーションによる健康大国戦略』に基づいて、科学技術の基礎研究分野へ重点配分が行われた。

また、2011年度から研究費の複数年度基金化により、より年度に縛られない研究進捗に沿った予算執行が可能となった。

ライフサイエンス研究用試薬の市場と同業会社

生化学(ライフサイエンス)研究用試薬の市場規模



◆同業会社のパターン◆

- 1 海外企業の日本法人
- 2 大手企業の子会社・部門
- 3 商社

出典: 矢野経済研究所『生化学向け研究用試薬に関する市場動向調査 2010年度版』

3. 2012年12月期の取り組み

www.cosmobio.co.jp

2011年からの取り組み

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

活力ある成長企業を目指す

ビジョン

- 第一に選ばれる研究開発支援の会社
- 世界のライフサイエンス研究に貢献
- 多角的な事業基盤の強化

<取り組み>

1. 事業規模の拡大

- 売上アップ・シェアアップ
- 有望分野への集中
- 海外展開の推進

2. コーポレートブランドの高揚

- ライフサイエンス研究支援で最も信頼される企業
- 誇れる会社
- 自社品の充実

3. ビジネスの多角化

- 周辺の新規ビジネスの探索
- 仕入先と連携したビジネス展開

4. 経営の効率化・合理化

- グループ内の業務効率化
－ 仕入、販売、物流 －

自社ブランド商品の充実

《最近の開発例》

技術

定温輸送容器

海外から生細胞を入手したいという声に応え、開発しました。

これまで国内でできなかった実験が可能に。

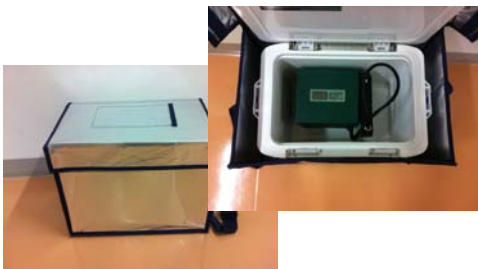
2011年10月使用開始

海外からの入手など長時間輸送が必要な場合は、細胞をいったん凍結させて運びますが、細胞によっては、凍結することで品質が低下してしまいます。

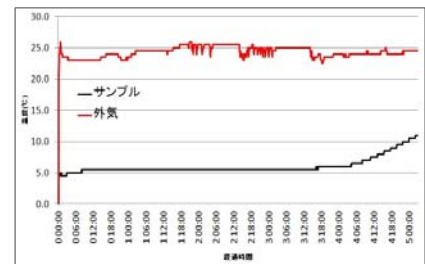
たとえばいったん凍結すると、再び解凍しても・・・

- ◆心筋細胞 ----- 細胞の拍動が弱くなる
- ◆肝細胞 ----- 酵素量に変化し、主要な機能を失う
- ◆膵島 ----- 血糖値上昇に伴うインスリン放出がなくなる

定温輸送容器と専用培地の利用で、最適温度に合わせて一定温度で輸送ができるようになりました。



最大7日程度温度保持が可能なため、海外からの輸入にも十分対応可能。



4日間以上5°C±1°C維持

自社ブランド商品の充実

《最近の開発例》

商品

糖代謝測定キット

糖尿病や肥満などの治療研究に欠かせない、糖代謝測定。

世界で唯一の、放射性物質を使わない安全・簡便なキットを開発しました。

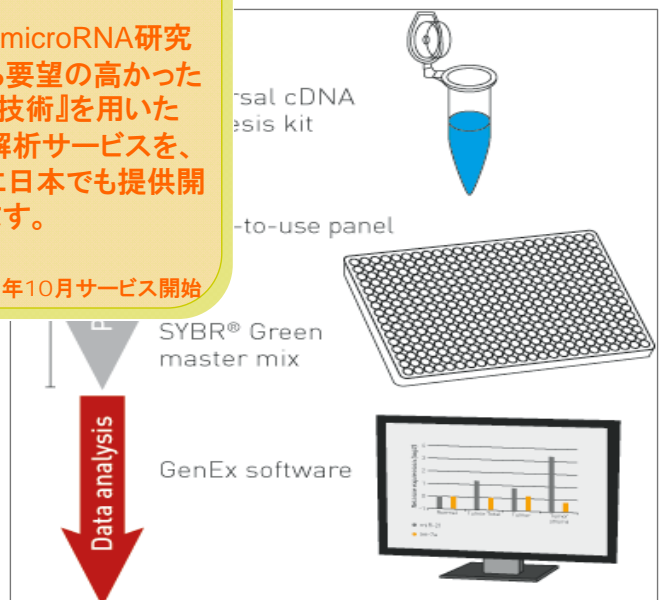
2011年1月販売開始

サービス

microRNAの定量PCR受託解析

多くのmicroRNA研究者から要望の高かった『LNA技術』を用いた受託解析サービスを、ついに日本でも提供開始します。

2011年10月サービス開始



新商品検索システムの機能・運用強化

Web上での商品検索システム
リニューアル
商品情報の整備・充実
検索機能の徹底強化を
一層推進します

200万品の
品揃え
(仕入先600社)



3. 海外販売網の拡充加速

- アジア・ヨーロッパの販売代理店網を強化
→ 今後更に既存代理店との関係強化および新規代理店の起用により代理店網を拡充する)
- 米州の市場開拓を強化
 - Cosmo Bio USAを米国市場開拓の拠点とし、また世界に向けた情報発信拠点に
- 効果的な販売促進活動
 - Cosmo Bio USAと連携した売上拡大
 - Web、Eメール等を活用した効果的なプロモーション活動



タンパク質合成キット
PURESYSTEM®



細胞染色用蛍光色素 POLARIC™

細胞関連分野の売上アップ加速

当社グループの取り組み

- グループ会社機能を生かした商品開発・技術サポート
- 仕入先の拡充による商品品揃えの充実
- 商品・技術開発を目指した共同研究開発
- ヒト細胞を用いた受託解析サービス
- 販売体制の整備

コスモ・バイオ

連携

プライマリーセル

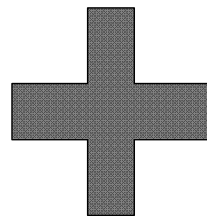
大学・企業等の研究機関



在庫品販売比率のアップ

独自のノウハウ

長年蓄積した
データによる
適正在庫



研究者のニーズを
くみ取った在庫設定

お待たせしない、廃棄を増やさないために
物流サービスの更なる改善を目指します。

4. 会社概要と事業の内容



www.cosmobio.co.jp

ライフサイエンス研究を支援する専門商社

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

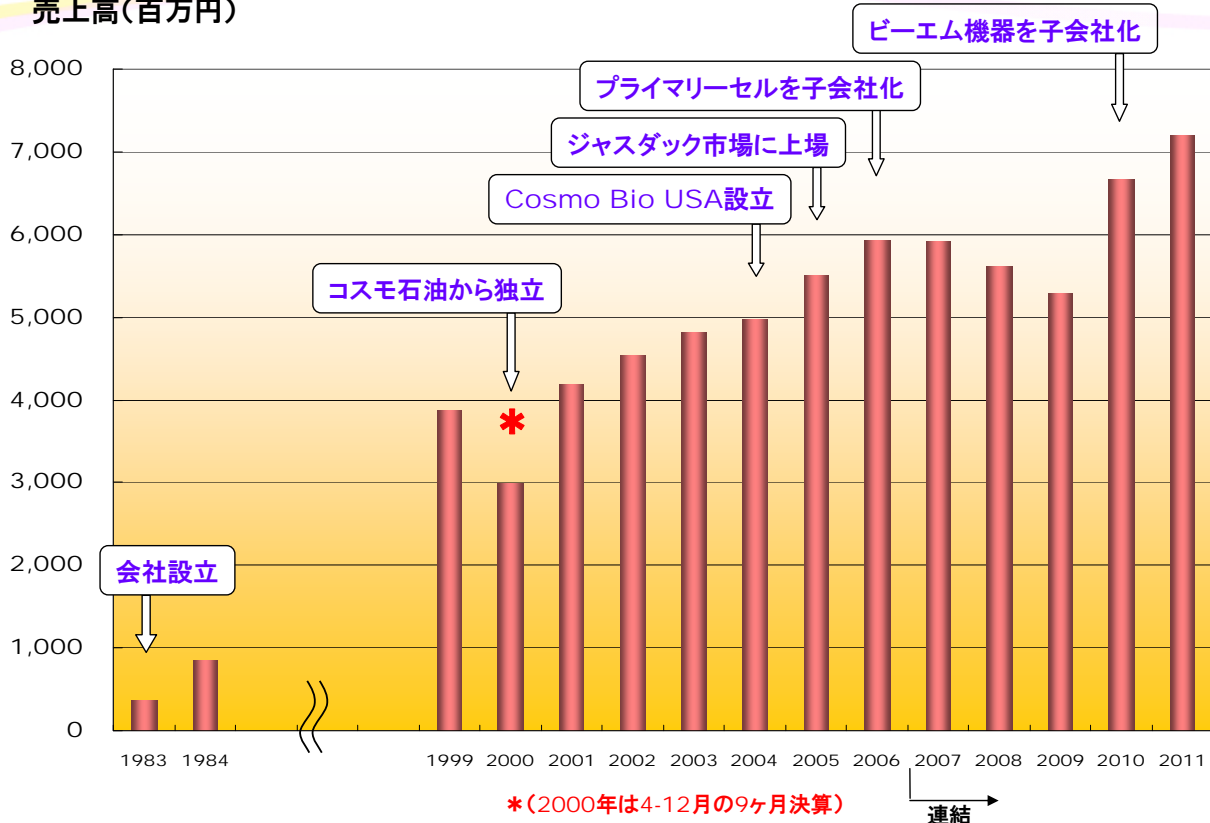


会社概要

| | | |
|---------|---|---|
| 社名: | コスモ・バイオ株式会社 |  |
| 業種: | 卸売業 | |
| 上場市場: | 大阪証券取引所JASDAQスタンダード | |
| 証券コード: | 3386 | |
| 本社所在地: | 東京都江東区東陽二丁目2番20号 | |
| 代表者: | 代表取締役社長 笠松 敏明 |  |
| 設立: | 1983年8月25日 | |
| 事業内容: | ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、 臨床検査薬の輸出入および国内販売 | |
| 資本金: | 918百万円 | |
| 事業年度: | 1月1日から12月31日まで | |
| 従業員数: | 連結:118名 個別:79名 (2011年12月31日現在) | |
| 連結子会社: | 株式会社プライマリーセル ビーエム機器株式会社 | |
| 非連結子会社: | Cosmo Bio USA, Inc. | |

当社の歩み

売上高(百万円)

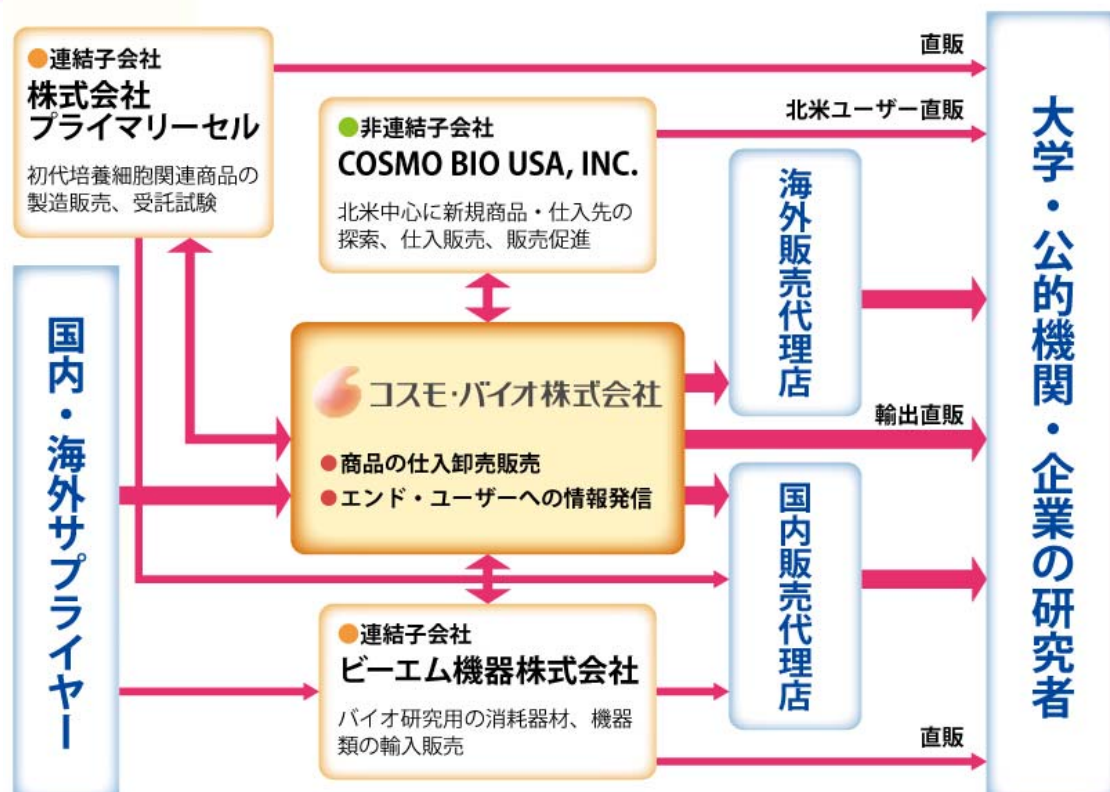


事業内容およびグループ経営体制



- 研究活動に必要不可欠な『**試薬**』と『**機器**』の両面からライフサイエンス研究を支援
- 商社機能にメーカー機能を一部複合させ、安定的な事業拡大を推進

ビジネスモデル 「世界のライフサイエンス研究を支援する専門商社」



商品情報提供ツール

各種商品情報提供ツール



ニュースレター



ホームページ／商品検索システム



各種カタログ

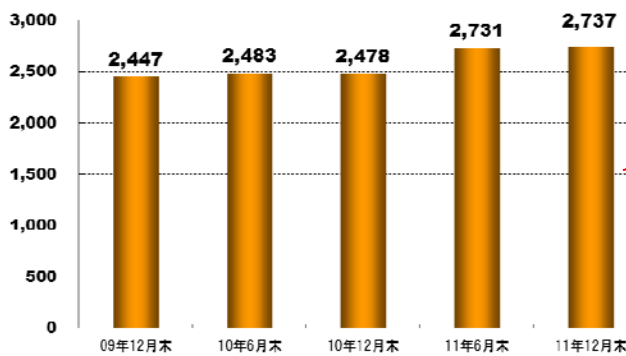


セミナー・展示会



株式の状況(2011年12月末現在)

株主数の推移



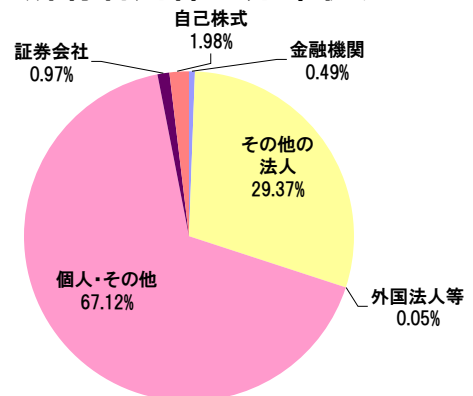
発行可能株式総数 183,616株
発行済株式の総数 60,480株
自己株式数 1,200株

大株主状況

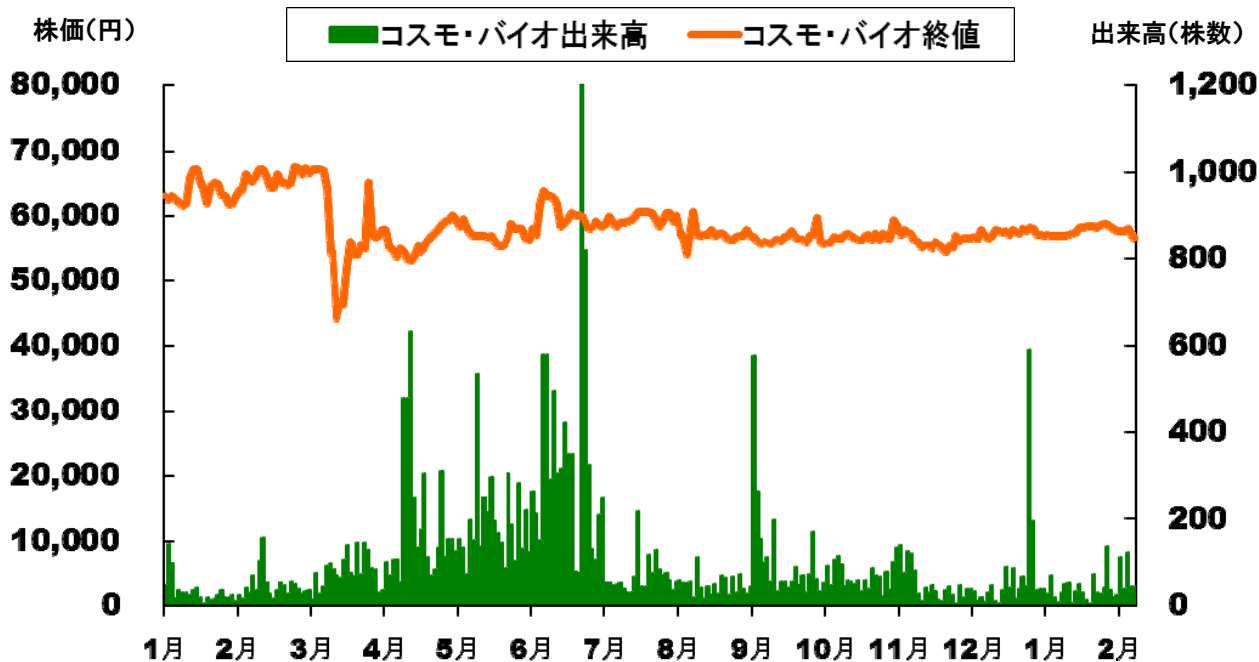
| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率 |
|------------------|--------|--------|
| 東京中小企業投資育成株式会社 | 11,520 | 19.05% |
| コスモプロパティサービス株式会社 | 5,760 | 9.52% |
| コスモ・バイオ従業員持株会 | 3,491 | 5.77% |
| 原田 正憲 | 2,000 | 3.31% |
| 福井 朗 | 1,774 | 2.93% |

注)コスモプロパティサービス株式会社はコスモ石油株式会社の連結子会社です

所有者別株式分布状況



株価推移(2011/1/4~2012/2/15)



昨日(2月15日)の終値:56,500円

ご注意

- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社株式への投資勧誘を目的としておりません。

《IRに関するお問い合わせ先》
コスモ・バイオ株式会社 経営企画室
ir-contact@cosmobio.co.jp

当社IRサイト
<http://www.cosmobio.co.jp/ir>